

あかるいまち21

.2018年8月10日 No.1162 組合員活動推進課 TEL082-532-1264

| | 8月累計 | 2018年度 |
|--------|--------|--------|
| 組合員ふやし | 20人 | 391人 |
| 出資金ふやし | 225万円 | 3696万円 |
| 純増 | ▲574万円 | 202万円 |

地域包括ケア部で西区社会福祉協議会さんを訪問面談

7月30日、地域包括ケア部の田中・飯星で、西区社会福祉協議会を訪問し、西区における「生活支援体制整備事業」の推進について懇談しました。事務局長さんと生活支援コーディネーターの方が対応してくださいました。

この事業で取り組むべきことは2点あり、1点目の生活支援コーディネーターの配置については市内各区社協に1名ずつと広島市社協1名の計9名の配置が完了されているということでした。さらにもう1点の「協議体」の設置の方が予定通りには進んでいないとのこと。協議体は、生活支援や介護予防活動の体制整備に向けて、「定期的な情報の共有・連携強化の場」となることを目的に設置されます。西区でも今年度中に、しかも予定では7月中にも立ち上げる予定だったとのことでしたが、豪雨災害と補助金事業の書類の取り扱いに追われ、予定通り進んでいないと言われていました。



保健生協からは、新しく作成したパンフレットをお見せし、組織再編を行って「地域包括ケア部」を設置したことや、西区内に10支部が地域で活動しており、ぜひ協議体に参画したいとお伝えしてきました。

さらに、佐伯区社協の事務局長さんをご紹介いただきました。連絡させていただくと豪雨災害支援でお忙しいということで、9月以降で訪問面談させていただく予定としました。

「知って、感じて、動き出そう」ピースアクション

8月5日、日本生協連主催ピースアクションinヒロシマ「虹のひろば」に広島中央保健生協として一つのブースを担当し参加しました。この「虹の広場」は、「ヒロシマの心を次世代のあなたへ～学び・知り・伝える～」をテーマに行なわれました。前半は、舞台上で松井広島市長の挨拶や被爆ピアノの演奏が行われ、核兵器廃絶・平和へのメッセージを被爆者そして子ども達と、世代を超えて発信していくようなステージとなりました。

私達中央保健生協は、灯籠・折鶴作りのブースを担当しました。ブース全体では、30団体・生協（県内10、県外16、他団体4）が参加しています。その中でも、多分、私たちのブースが一番人気でした。折鶴用に準備した友禅千代紙200枚はほぼなくなりましたし、職員の協力で準備した灯籠作り用の牛乳パックもすべて使い切りました。12脚のイスでは足りず順番待ち状態でした。組合員さん・職員総勢21名で灯籠・折鶴作りのお手伝いをしましたが、特に組合員さんは、折鶴班などの日頃の活動の成果を発揮され、熱心に指導してもらいました。最後に虹のひろばは、生協ひろしま虹のコーラスのメンバーによる「青い空は」などの演奏に合わせ、参加者全員で合唱し、平和への強い思いをともにしながら、フィナーレを迎えました。

